



平成29年度 帯広市立帯広第二中学校経営方針

～守る伝統 つくる（創造）・みがく（実践） 未来の二中～

I. 学校教育目標

「つくる（創造） みがく（実践）」

～確かな知識をつくる 丈夫な身体をつくる 強い精神にみがく 美しい心にみがく～

II. 学校経営理念

「子どもに自信をつける」

～子ども、教職員、保護者、地域が誇れる二中スピリッツ（自覚・愛着・誇り）の育成～

III. 学校経営信条

- 1 何事も普段が肝心
- 2 教育の成果は生徒の変容にあり
- 3 必要に応じて積極的に、時には大胆に新たな取り組みに挑戦を

IV. 学校経営の基盤

- 1 個を生かし組織として機能する、潤いと秩序のある学校経営
 - ・報告・連絡・相談の徹底
 - ・協力・協働・信頼関係に基づくチームワーク
- 2 小事を大事にする学校経営
 - ・日々の授業、一時間一時間を大事にする
 - ・日々の小事を見逃さず、一人一人を大事にする温かい生徒指導の充実を図る
- 3 誠意をもった姿勢を貫く学校経営
 - ・公教育を担う意識・責任を自覚した教育活動の展開
 - ・保護者・地域との連携を深め、願い・期待に応える教育活動の展開

V. 重点目標

～笑顔追求、日々の小さな努力で二中スピリッツ（自覚・愛着・誇り）の育成～

- 1 二中スピリッツの維持と向上
 - (1) 「二中スピリッツ」～知・徳・体の取り組みの一層の深化
 - (2) 「スクールライフの充実」～中身のともなったオリジナルの創造
 - (3) 「スポークスマン活動」 懇談会、HP、学校・学年・学級・部活だより等
- 2 学力のさらなる伸長 授業のさらなる充実
 - (1) 「授業実践」による授業改善 全員が研修・評価と指導の一致・学力分析による授業改善
 - (2) 「個別指導計画」特別な支援が必要な生徒
 - (3) 「朝読書」「朝学習※テスト1週間前」等、二中スピリッツとしての体系化
 - (4) 「放課後・長期休業中の学習教室」の実施
 - (5) 各種テスト等を利用した学力向上のための傾向分析～意欲向上の具体策
- 3 多様性に対応した指導の充実
 - ・「道徳授業」の実践 新学習要領・教科化への対応

VI. 基本方針

1 目指す学校像

- ・あいさつと笑顔があふれ、潤いの環境がある学校
- ・学習意欲の向上により、確かな学力の伸長を図る学校
- ・体力向上と健康・安全に努める学校

2 目指す生徒像

- ・学ぶ生徒（個性豊かな英知）
- ・思いやりのある生徒（明るく健康な心）
- ・たくましい生徒（明るく健康なからだ）

3 目指す教師像 ～教師像を考える視点としての3つ～

- ・教育に情熱を持った教師
- ・謙虚な姿勢を持った教師
- ・プロとしての自覚を持った教師

4 学力の定着と向上

- ①創意工夫を生かした教育課程の編成・実施。
- ②生徒・学級・学校全体の実態や課題の把握、更なる改善につなげる検証改善サイクルの確立。
- ③基礎的・基本的な知識・技能の確実な定着と授業時数の確保。
- ④9年間の学びと育ちの連続性を重視した教育の推進。
- ⑤学習意欲の高揚及び知識・技能の活用を図る学習活動や言語活動を充実と思考力・判断力・表現力等の育成。
- ⑥日々の授業における個に応じた指導の充実及び指導や評価の工夫改善。
- ⑦体験的な学習や知識・技能の活用を図った活動による学習意欲の向上。
- ⑧学習習慣の確立を図るため、家庭の理解と協力を得て、家庭学習も視野に入れた指導の実践。

5 生徒指導の充実

- ①不登校の解消、問題行動の減少、いじめの根絶にむけて「みんなで、すぐに、粘り強く」、「小さな問題行動を見逃さない」、「曖昧な指導をせず指導を完結する」、「凡事徹底の指導」を全教職員で行い、学校全体の指導力向上を図り、集団の浄化作用を醸成する。
- ②定期的な生徒指導委員会及び全教職員の共通理解に基づいた校内指導体制を確立し、授業規律の確保や校内規律の徹底を推進する。
- ③共感的な人間関係の育成を図るとともに、生徒一人ひとりが成就感や存在感を得られるよう教育活動を工夫し、個人の能力や特性を生かした指導に努める。
- ④生徒理解に努め、教職員と生徒の信頼関係及び生徒相互の好ましい人間関係を育成する。そのために、研修等を通し教職員の生徒指導や教育相談に関する技法や態度を身につける。
- ⑤「環境が人をつくる」ので、整然と美しく潤いのある教室や廊下等の環境整備を推進する。安全で安心な環境作りにも常に努める。

→ 具体的には…

心がホッとする学級、学年、学校づくり

- 各行事、生徒会活動、学年、学級での活動で生徒が活躍できる場面設定と、取組の過程を含めた認め、励まし、所属感、愛校心の高揚。

- 福祉体験、勤労体験等の充実や体験を通して社会の一員としての責任や自己を大切にすると共に他者を思いやる温かな心の育成を図る。
- 挨拶、清掃は生徒の心のバロメーター。しっかりと取り組める生徒の育成とわがまま言わず黙々と頑張る生徒を認め評価する学級、学年、学校。
- 一人一人の生徒理解を基盤に、時と場に応じて、認め、励まし、褒め、叱る、誰が聞いても納得できる指導。(学校は生徒の成長のためにあることを忘れない)
- 生徒や保護者の考えや思いを、先ずはじっくり聞く。
- 学校組織全体で関わる不登校生徒等への対応。
- 不適応傾向の生徒の個別支援計画の作成及び職員の共通理解、同一歩調での支援、指導。
- 3年間で「志を抱く十五歳」として卒業させられるような生徒指導・教育相談。

6 進路指導・キャリア教育の充実

生徒一人一人が進路に対する目的意識を高め、望ましい勤労観や職業観を身に付け、希望と自信をもって意欲的に学校生活を送り、自己実現が図れるよう指導する。

生徒の能力・適性の的確な把握に努め、きめ細かな進路相談や進学相談を実施する。

→ 具体的には…

希望と自信を持った意欲的な生徒の育成

- 進路に対する目的意識を高め、望ましい勤労観や職業観を身に付ける指導の推進。
- 自己実現が図れる計画的、組織的、継続的な指導援助の推進。
- 社会体験事業等の勤労観・職業観を養う体験活動の充実。
- 日々の生徒や保護者との信頼関係の確立ときめ細やかな進路相談の実施。
- 入試事務の厳正・適正化。

7 学校防災体制の確立と安全・安心な学校づくり

- ① 安全・安心な教育環境を整える手立ての充実を図る。(避難訓練、安全指導、安全点検等の改善と実施)
- ② 地域防災拠点としての役割に基づく学校防災への組織的な対応を図る。
- ③ 生徒の安全意識を高める安全教育、安全指導の根気強い展開を図る。

→ 具体的には…

いつも安全、Safety School

- 生徒の安全を最優先で考える学校。
- 小破修理は、気付いた人がすぐに対応(自分でする、できなければ校務員、教頭、校長へ連絡)
- 市地域防災拠点マニュアルに基づく、学校防災マニュアルの細部を確定し、緊急時の対応について共通理解を図る。
- 様々な機会を設定し、適宜、適時に繰り返し生徒の安全意識を高める安全教育、安全指導を続ける。

8 開かれた学校づくりの推進

様々な機会を捉えて、学校の教育活動の積極的な情報発信に努める。また、家庭・地域等と連携を図り、相互理解等を深めた教育活動を充実する。地域等の教育力を積極的に学校に取り込むとともに、学習活動、環境整備、部活動等について、開かれた学校づくりを推進する。

→ 具体的には…

この学校でよかった！そう思える学校づくり

- 各種通信、授業参観、地域公開、行事等により積極的な学校公開に努める。
- 迅速に、的確に、そして誠意を持って保護者とのきめ細かな連絡・連携を図る。
- 正しい情報を集め、指導方針を固め、適切な形(電話、家庭訪問、来校依頼)の対応に努める。
- 信頼という言葉で報われる対応を考える。親の学校への信頼の根本は、我が子への誠意と愛情が感じられるかどうかである。

Ⅶ. めざす姿を実現するために（具体的な推進内容）

1 校務運営

- ・教職員の協働、地域との協働、保護者との連携＝「チーム二中」
- ・校務分掌による提案型の創造性ある教育活動

2 教育課程

- ・学習指導要領の確実な実施と評価・反省

3 学習指導

- ・基礎、基本の確実な定着と言語技術を高める授業の創造

4 道徳教育

- ・よりよい生き方を追求させる道徳の時間の充実

5 特別活動

- ・行事・学級活動・生徒会活動等を通して自主的、実践的な態度の育成

6 情報教育

- ・コンピュータ等の情報機器の積極的な活用

7 特別支援教育

- ・一人一人の教育的ニーズの把握、家庭や関係機関との連携、全校での情報共有

8 生徒指導

- ・好ましい人間関係を基盤に、自己指導ができる生徒の育成（傾聴と共感）

9 健康・安全指導

- ・自他の生命を尊重し、自ら健康・安全の保持増進を図る実践力の向上

10 進路指導

- ・自己の個性や能力・適性についての多面的な理解と「生き方」の指導

11 研修活動

- ・公教育に携わる専門職としての自覚と専門性の深化を図る研修の充実

12 環境の整備

- ・校舎内外の環境美化と機能整備

13 家庭・地域社会・関係機関との連携

- ・小学校、地域関係機関等との連携を深め、信頼される学校の強化

14 学校事務

- ・事務処理の合理化・効率化と各種帳簿、諸表簿の適正な保管

15 部活動

- ・生徒・保護者との信頼関係の構築

16 教職員の健康管理

- ・明るく笑顔のある職場、健康の保持増進と安全

17 服務規律

- ・教育公務員としての自覚と服務規律の厳正な遵守
- ・「KTSBの日」の設定（毎週金曜日）

K	・・・	交通事故、交通違反をしない
T	・・・	体罰をしない
S	・・・	セクシュアルハラスメントをしない
B	・・・	暴言をしない